

自分たちの未来のために・・・  
～卒業生の進路調査～

高等部1年A組

小倉 笙太

與那嶺 拓也

## ○目的

卒業生の生活の様子を調べることにより、

- ①卒業後の生活の様子が具体的に分かるようになる。
- ②自分の卒業後の生活をイメージしやすくなる。
- ③自分の進路に対する視野を広げる。

これらのことを目的として調査を行いました。

# 目的を達成するための方法

- ①**進学** : 「学習室」利用者へのインタビュー
- ②**就労** : 「コレクトスペース Sun Sun」  
の調査、インタビュー
- ③**余暇活動** : 「スポーツリーグ」実行委員  
へのインタビュー

進 学 編

# 学 習 室



学習室を利用している卒業生に  
聞きました！！

渡邊 竜一さん(1病棟)

高橋 修さん(2病棟)

三宅 貴史さん(3病棟)

Q1、なぜ、学習室を利用しようと思ったんですか？



## <回 答>

病室だと思うように学習に使えるスペースも少なく、学習室の方が学習しやすかったからです。

(三宅)

自分の取得したい資格を取るため、インターネットやパソコンなど学習環境の整っている学習室の方がよいと思い利用しています。あと静かな環境というのも魅力です。

(渡邊)

一人では途中でやる気がなくなってしまうことも考えられたので、同じ志を持っている仲間と同じ場所で学習を行えば続けられると思ったからです。あと、静かな環境なので集中しやすいです。

(高橋)



Q2、どんな勉強をしているんですか？



## <回 答>

日本福祉大学へ進学するため、入ってから困らないよう基礎学力の向上を目指し、今は高校時の学習を補習的に行っています。特に数学が弱いので、数学の補習に力を入れています。

(三宅)

福祉支援技術コーディネーター資格の取得に向けた学習をしています。

(渡邊)

株の取引で役立つよう、証券外務員Ⅱ種の資格取得のための学習を行っています。

(高橋)

# Q3、何故その勉強をしようと 思ったんですか？



A、

福祉の勉強がしたかったからです。高校時代も総合的な学習などで「福祉」や「福祉支援機器」について学習を行ってきたのですが、大学でより専門的に「福祉」について学び、将来に役立てたいと考えたからです。

(三宅)

高校時代、総合的な学習で福祉支援機器の学習を行ってきたのですが、自分の生活に密接に関わる福祉支援機器に大変興味を抱き、将来的に機器の開発を試してみたいと考えるようになったのがきっかけです。また、東京大学の中邑教授の講義を聴いたことも大きなきっかけとなりました。制度も変わり一段と厳しくなった社会に、福祉や、支援技術に専門的な知識を身につけ、参加していくためにこの学習を行っています。

(渡邊)

高校2年生の時、「商業」の時間の中で、池田先生より株の取り引きについて学んだのですが、頭とパソコンがあれば株の取り引きが自分にもできることを知り、将来の仕事につなげたいと考えました。そのための資格として証券外務員Ⅱ種の取得を目指しています。

また、この資格は以前は商社マンしか受けられなかったのですが、法改正があり誰でも受けられるようになったことも大きな要因としてあります。 (高橋)

# Q4、学習室利用のスケジュール を教えてください。



## <回 答>

月曜日、水曜日、木曜日  
午前10:00～11:00までの  
1時間です。



Q5、学習室利用以外の  
スケジュールを教えてください。



## <回 答>

朝8:00~9:30、夕方6:00~6:30の  
時間に学習室と同様の学習を行っています。  
また、月、水、金以外の日は作業療法室に  
いってホームページ作りの学習を行っています。  
(三宅)



学習室開設日以外は作業療法室に行って、『イラストレータ』というソフトを使ったイラスト(トレース)を行っています。  
たまにコレスペコンテストなどに応募もしています。  
(高橋)



学習室開設日以外は作業療法室に行って、福祉支援機器関係のホームページを作成しています。また、「イラストレーター」を使って車の絵を描いたり、名刺作りなども行っています。  
(渡邊)



Q6. 学習室を利用して良かった点と、要望  
などがあれば教えてください。



## <回 答>

パソコンやインターネットが整備されており、学習しやすい環境だということです。また、支援してくれる先生方もいることで、ページめくりなど頼みやすいと思います。

今後は一緒に学ぶ仲間をもっともっと増やしていきたいと思います。みんなですること、そのやる気やパワーを学習以外にも様々なことに発揮していきたいと考えています。

(三宅)

支援してくれる先生方がいることで、学習の準備やページめくりなどがお願いしやすいのがいいと感じています。

今後は月、水、木の午前中以外にも、もう少し開設時間が設定できることを望みます。また、三宅君の意見のように利用していく人がもっともって増えていけばいいと感じています。 (高橋)

学習環境（パソコン、インターネット）が整っている、支援者がいる、また静かな環境で集中して学習を行えるというのがよいところだと思います。

今後は利用時間をもう少し増やしてほしいこと、仲間をどんどん増やしていきたいと思っています。

（渡邊）



Q7、今後学習室をどのように  
活用していきたいですか？



## <回 答>

学習だけでなく、何かを生み出す企画なども含め、総合的な“学びの場”として活用できればと考えています。 (三宅)

自分の目標を達成できる場として活用していきたい。目標達成には努力や、やる気は必要不可欠な事なので、そのやる気にあふれた場となっていければと思います。

(渡邊)

何らかの形、成果として結果を残して  
いきたいと思います。(資格の取得)  
これからも学習室が利用できるよう、こ  
の流れは続けてほしい。 (高橋)



先輩方からメッセージを  
いただきました！！

もっともっと自分のしたいこと、やりたいことを他にしていくことが大切です。

もちろん、アピールするばかりでなく、人の話にもよく耳をかたむけ、たくさん  
のことを吸収して行ってください。

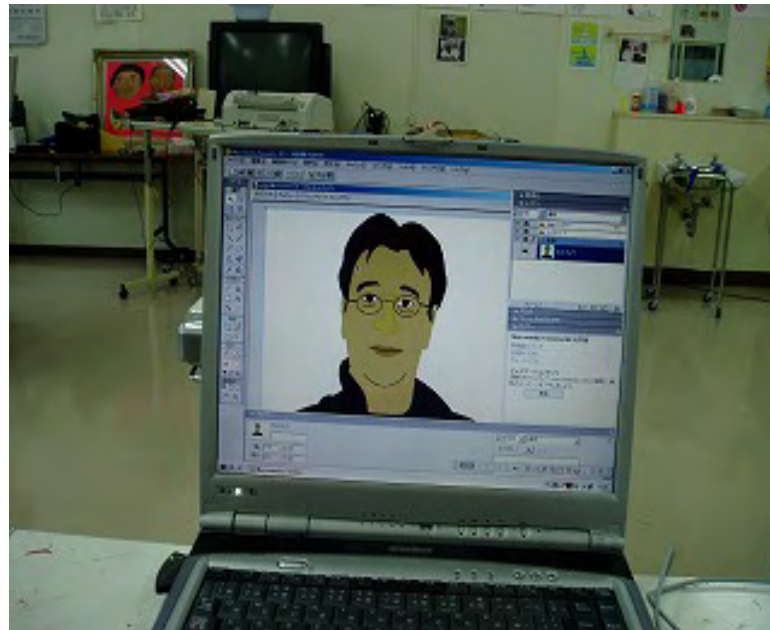
就 勞 編

# コレクトスペースSUN SUN



# 調査させてもらった方々

- 田村忠則さん、齊藤峻さん、工藤駿介さん、三浦康之さん、山田昇さん、に訊きました。



Q, 今どのような活動をしているんですか？

- 田村さん・・・今は群馬県にある赤城山の風景画を描いています。以前は家族の絵を描いてました。



- 斉藤さん・・・写真をトレースして絵を描いています。今は八雲町の夕日の絵を描いています。





- 工藤さん・・・似顔絵を描いたり、名刺をつくったりしています。



- 山田さん・・・漫画を読んだり、ゲームをしたりしています。



- 三浦さん・・・ マイクロソフト社の「答えてネット」というサイトに来る質問のカテゴリー分けの仕事を行っています。



Q, その活動をして嬉しかった  
ことはありますか？

- 田村さん・・・絵は描けないものと思っていましたが、道具の工夫などで画けるようになったことがうれしかったです。
- 齊藤さん・・・写真そっくりにできたことです。



- 三浦さん・・・回答した案件の相手からの評価が高かった時はうれしいです。



- 工藤さん・・・人に喜ばれた時はうれしいです。



## Q, OT室はどの位の頻度で 来ていますか?

- 田村さん・・・月曜から金曜まで、大体毎日来て絵を描いています。午前午後合わせて1時間から1時間半くらい描いています。
- 斉藤さん・・・週に5日くらい、午前10:00～11:00の1時間くらい来ています。今は放送大学も夏休みのため学習は行っていませんが、大学が始まれば、週3回は学習室にいて、大学の勉強をしています。

- 工藤さん・・・依頼のあったときだけ来て描いています。1回に1時間半くらいかけて描いています。
- 山田さん・・・月曜日から金曜日、午前中は漫画を、午後はゲームをしています。
- 三浦さん・・・1日に1時間をめどに行っています。1ヶ月で約24時間になります。

**Q. 個別の質問っす。**

Q. 最終的には絵を描いてどのようになりたいと考えていますか？

田村さん・・・カレンダーにしたいと思っています。

Q. 最終的には絵を描いてどのようになりたいと考えていますか？

齊藤さん・・・完成すれば、八雲町の「ハーベスター八雲(レストラン)」に飾る予定です。

Q. 何故今の活動をやろうと  
思ったんですか？

工藤さん・・・親の役に立ちたい、人を  
喜ばせたいと思ったから  
です。



Q. ゲームはどのように  
行っているんですか？

山田さん……

3つのスイッチをつかって行っています。  
車いすも同じ3つのスイッチをつかって運  
転しています。右手の親指が前進、小指  
が右旋回、左手の親指で左旋回を操作  
しています。



# 三浦さんへのおっらちゃけ質問

Q. 月いくらくらい賃金を貰っているんですか？

A. カテゴリー200件で、12000円貰っています。

Q. どのようなきっかけで始めたんですか？

A. もともとパソコンに興味があって、パソコン関係でなにかと考えていたんですが、ちょうど札幌チャレンジドの紹介、求人もあって始めました。

Q. 貰った賃金はどうしていますか？

A. 貯金しています。

Q. 今後はどう発展していきたいですか？

A. チャンスがあれば違った仕事にも  
チャレンジしてみたいです。

# 作業療法室 田中先生への質問です。



Q. どのようなことでコレスぺ  
を始めたんですか？

高等部を卒業後、ほとんどの方がそのまま病院に残り継続療養を選択されます。その卒業生からよく「学校に行っていた時間の過ごし方が分からない」「なにをどうしたらよいのか分からない」という声が聞かれていました。そういった声に応えるため、最初は仕事を通じた社会とのつながり、人とのつながりがもてないだろうか、と考えたことがきっかけです。「障害者は仕事をしなくて当たり前」というのが以前ではありましたが、そうではなくて、仕事を普通に行い、それを通じて社会とつながり、また自分を成長させることができるのではないかと考えています。ここに集うそれぞれの方がやりたいことを行い、それをコーディネートしていければと考えています。

ちょっと見にくいですが…

Q. コレスペを始めてどの位になりますか？

A. 昨年の9月6日からになりますので、1年ちょっとです。



Q. コレスペにはどの位の方が集まっていますか。また、活動当初はどの位の方が参加していたんですか？

A. 今は常時12、3人の方が来て活動しています。活動当初は3、4人でした。



Q. コレスペの活動の中で

困ったことはありますか？

A. 仕事や課題がなかった時です。でも  
東京大学の中邑先生などから「仕事  
がなければ自分たちでつくればいい  
じゃないですか」とアドバイスをいただき  
き、今は自分たちの身近なところから  
仕事をつくっていこうと発想を変えた  
おかげで、困ることもなくなりました。

## Q. コレスペの活動での

喜びはなんですか？

A. コレスペで活動しているある方から「明日はなにがあるか楽しみだ」という話を聞きました。また、ある看護婦さんからは「患者さんに何かをお願いするということにはなかったのに、コレスペの活動を見て、お願いすることにしました」という話しも聞きました。コレスペの活動を通して楽しみが増えたり、人を引きつける能力を見つけられたとき、大きな喜びを感じます。

Q. 今は仕事の依頼の数は  
どの位来ているのですか？

A. コレスペはお金を稼ぐだけの場ではなく、自分を高める場なので、そんなに仕事の依頼数は気にしていませんが、コレスペコンテストでは53件ほど終了していますし、全利益としても10万円近くは出していると思います。



Q. 今後コレスペをどのように  
発展していくつもりですか？

A. ずーっと楽しめる場でありたいと思っています。また、みんなのユニークさを仕事につなげ、コレスペをもっともっと多くの人に知ってもらいたいとも思っています。それでコレスペのファンを1人でも多く増やし、その方々と一緒にコレスペを育てていきたいと考えています。

# 余暇活動編

# 病棟スポーツリーグ



# 病棟スポーツリーグ実行委員の皆さんに聞きました！！

工藤 駿介さん(3病棟)

三宅 貴史さん(3病棟)

高橋 修さん(2病棟)

渡邊 竜一さん(1病棟)

Q1、何で「病棟スポーツリーグ」を始めようと思ったんですか？

A、卒業してしまおうとスポーツをやる機会がほとんど無くなってしまおうため、好きなスポーツをやりたいという気持ちから病棟リーグを始めようとう行動に移しました。スティック部の工藤君と実行委員会を作り、仲間を募りここまでできるようになりました。



Q2、「病棟スポーツリーグ」を始めて、  
嬉しかったことや喜びはありましたか？

A、生活の中で、スポーツができるようになり、  
みんなの顔に笑顔が多くなったことがと  
ても嬉しく感じています。

Q3、「病棟スポーツリーグ」をこれからどのようにしていきたいですか？

A、八雲養護学校だけでなく、地域の人や他校の生徒にも知ってもらい、全国的な活動に広がっていけば考えています。



まとめとして…

僕たちはこれらの調査を通して、卒業後の生活の様子をある程度具体的に知ることができ、卒業後の生活をイメージできるようになった。

その結果進路に対する考えが深まったと思います。

協力していただいた

工藤 駿介さん

斉藤 峻さん

高橋 修さん

田村 忠則さん

三浦 康之さん

三宅 貴史さん

山田 昇さん

渡邊 竜一さん

作業療法室 田中先生

ありがとうございました。

完

ご静聴ありがとうございました。